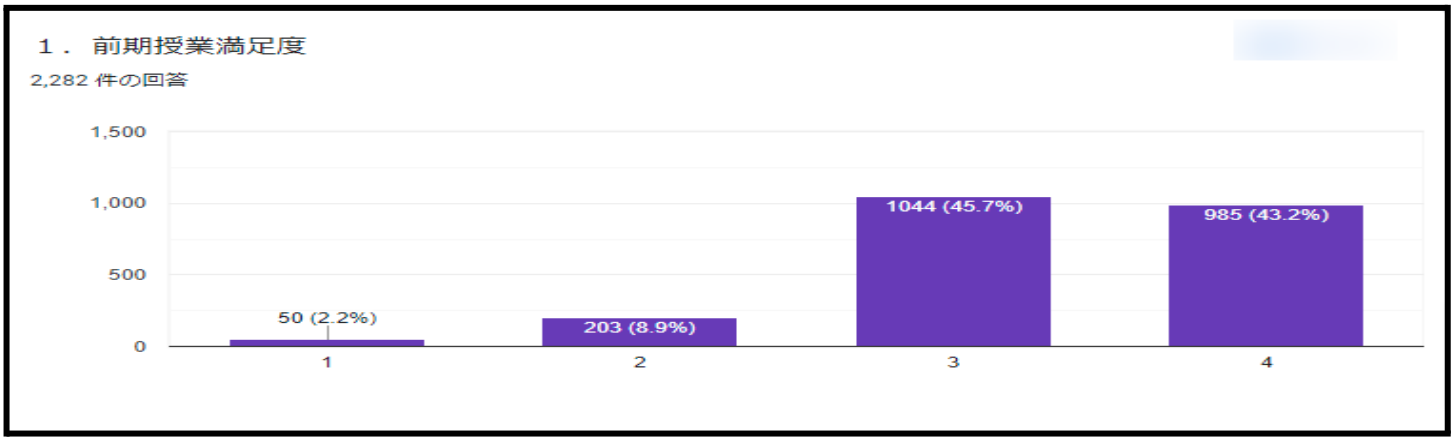
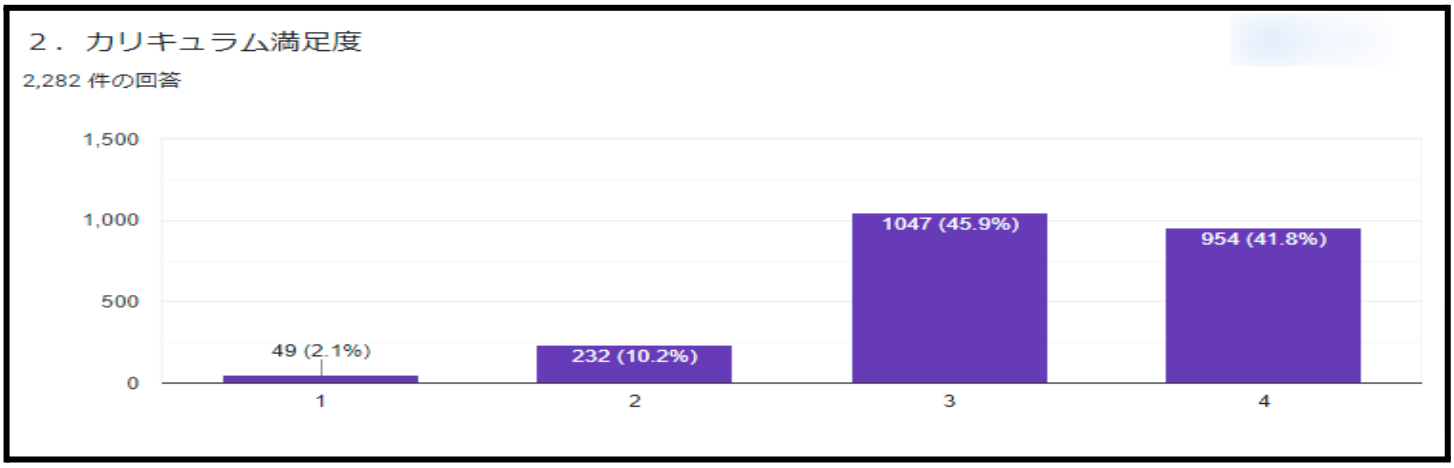
２０２３年8月１７日
副学長　井上　聡

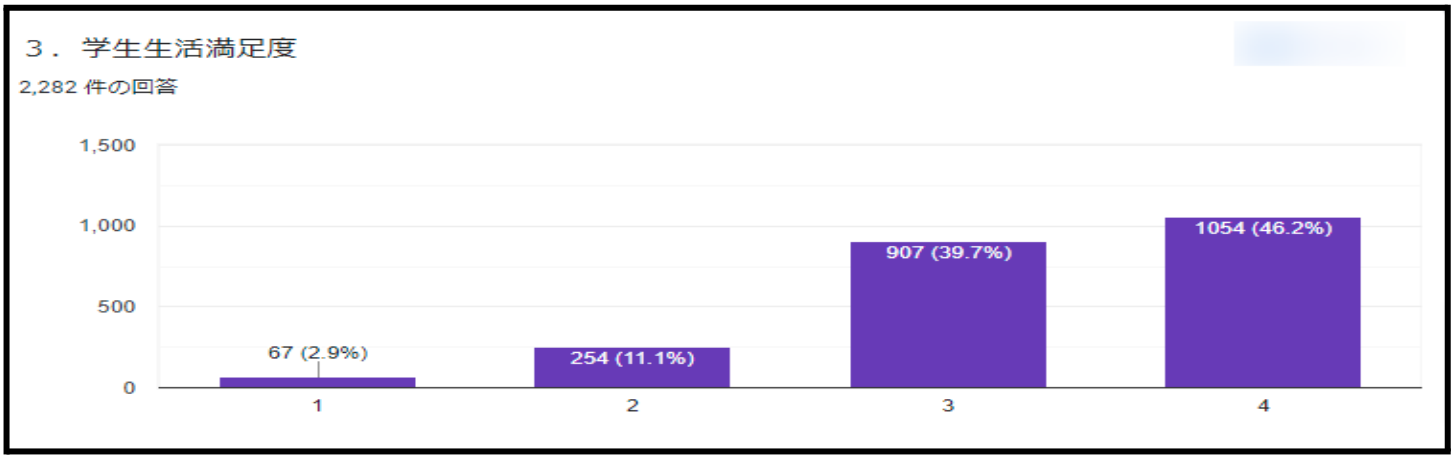
２０２３年度前期学生調査の結果

下記、前期末に実施した調査内容をまとめたものになります。

１　授業満足、課程満足、生活満足ともに過去最高を記録

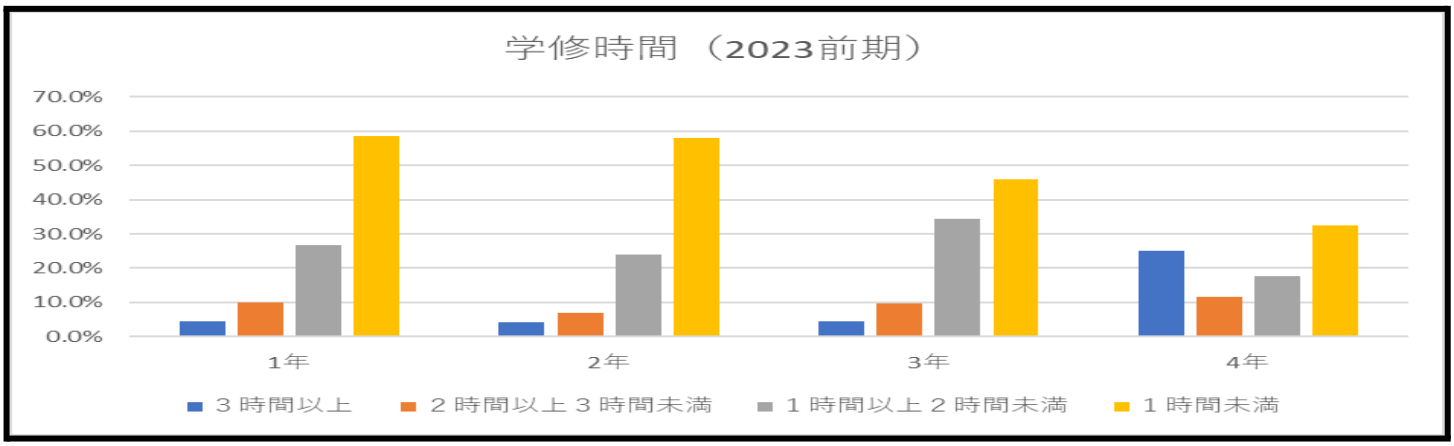






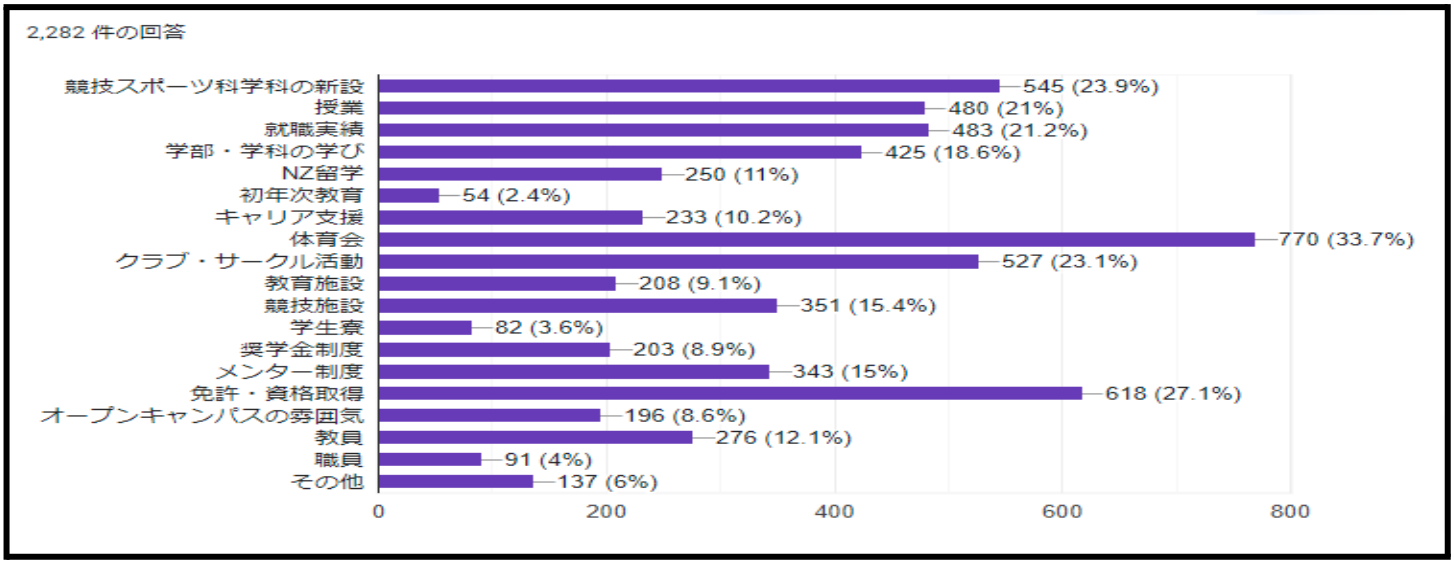
- 「とても満足」「まずまず満足」の２項目を足すと、**<u>授業満足度が８８．９%</u>**、**<u>課程満足度が８７．７%</u>**、**<u>生活満足度が８５．９%</u>**となり、いずれも過去最高値を記録しました。学生の皆さんがコロナ禍明けの学業に対して前向きに取り組まれた結果が反映されているように思います。
- 一方、「あまり満足していない」「全く満足していない」という声も１０%程度見受けられますので、対話を通して、改善に励みたいと考えています。

2　前期学修時間



- １・２年生がほぼ同じ傾向を見せる中、３年生において徐々に学修時間が増え、４年生では半数程度が毎日、２時間以上学習に取り組んでいることが分かります。就職活動の本格化に因るものですが、部活動やアルバイト等に区切りをつけ、採用試験対策に取り組んでくれている状況が反映されています。この「切り替え力」こそが、本学固有の就職実績を生み出す要因であると言っても過言ではありません。

3　本学の魅力度調査



- 『２０２３大学案内』の項目をもとに在籍生に投票して頂いたところ、まさに、建学の精神（教育とスポーツの融合）を示す結果となりました。
- **第１位　体育会**
- **第２位　免許・資格取得**
- **第３位　競技スポーツ科学科の新設**
- **第４位　クラブ・サークル活動**
- **第５位　就職実績**
- **第６位　授業**
- 全部活が中四国大会で優勝した体育会活動、教員免許や柔道整復師免許の取得、トップアスリートの競技力を支える新学科の設置、体育会以外の学生主体による様々な活動、４年後への責任を果たし続ける就職実績、DISCOVERYを中心に展開される非認知スキル開発授業などが上位にランクインされています。
- 上位以外にも、「学部・学科の学び」「競技施設」「メンター制度」「教員」「NZ留学」などが注目されています。多様な学生のニーズにお応えできるよう、今後よりいっそう、教育環境や学生サービスの充実に励む所存です。